

6月20日(月)

ただ一つの選択肢

聖書朗読 詩篇 142編

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。

マタイ 11:30

人間にとって、不当に非難されること以上に重い負担はありません。虚偽は人を傷つけます。他人は、実のところそうではないひどいことを知っていると思っています。私たちは不公平に自尊心を傷つけられ、恥をかかされ、侮辱されます。私たちはなんとしてでも他の人に真実を知ってもらいたいと願います。報われない望みは私たちの霊を、詩篇の言葉を借りて言えば「弱らせ」ます。私たちはただ汚名が晴らされることを願います。

でも、現実的には、そうはならないでしょう。虚偽のいのちは猫のそれより多いのです(訳者注:英語には「猫は9ついのちがある」ということわざがあるそうです)。もしも大司祭カヤバが今も生きていたら、なお自分はひどい背教者イエスからユダヤを救ったのだと言い続けていることでしょう。

私たちにはただ一つの選択肢しか残されません。それは不満を神様に打ち明けることです。幸運にも、これは一つにして最高の選択肢です。神様は私たちについての真実を知っているだけでなく、私たちの痛みにも寄り添ってくださいます。神様の癒しは単なる擁護にとどまりません。神様の恵みは私たちを満足させ、痛みを癒し、霊を変えてくださいます。あなたの不満を神様に話し、あなたを非難する人たちを赦し、真理に生きることに専念してください。それは(困難だけれども)軽い救いのくびきです。

讚美歌 517

祈り 父なる神様。私は、あなたが私のすべてを知っておられるだけで十分であること、あなたに従うことで平安を得られることを知っています。私がそのことを実感できるようにしてください。

主イエスの御名により。アーメン。

マイク・サンダース
アイダホ州 ボイシ

今日のカ

2016年6月20日～6月26日

翻訳 鈴木 慈久

藤岡 伸子

編集 岩田 欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月21日(火)

神の御力を表す被造物

聖書朗読 詩篇 148編

だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。 IIコリント 5：17

私はコロラド州のロッキー山脈の麓に住んでいます。そびえ立つ山々の頂は、いつも、神の偉大な創造の御力を思い起こさせてくれます。雄大なスイスアルプスやカナディアンロッキーを見ても、神を褒めたたえずにはいられませんし、ナイアガラ滝のような大瀑布、グレートバリアリーフ、モルジブ周辺のインド洋にある言葉に言い表せないほど見事なサンゴ礁にも、神のみわざを見てとることができ、感動のあまり神を称賛せずにはいられません。雄大な山々、広大な海、果てしなく続く砂漠。すべてが私たちの造り手の無限の御力を表しています。

けれども、つい先日、このような雄大な自然ではなく、ほんの小さな存在が、神の偉大なるみわざを表しているのを見て、深く感動することがありました。今では廃墟となっている古代都市エフェソスの町を歩いていたのですが、小さく繊細な黄色い花に目が留まりました。崩れかけた石壁の間から延びて咲いているのです。この廃墟の中に勝ちを得て、新しく生まれた小さな命に、神の驚くべき真理を改めて思わされました。その真理とは、神が、廃墟の中から美しく新たな命をお造りになることがお出来になるというものです。私自身も、罪と死という滅びから救われ、生まれ変わり、新たな命を得ることが出来たというのは何と素晴らしいことかと思えます。このようにほんの小さな花でさえ、詩篇に記された戒め、すべての被造物よ神を褒めたたえよという戒めを守っているのです。

讃美歌 第二編 152

祈り 創造主なる神様。あなた様の御力を表すものを数えきれないほどこの世に満たしてください感謝します。私たちの目を開き、それらを見ていつもあなた様を称えることが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

シル・ボーウェン
コロラド州 ロングモン

6月22日(水)

選 び と る こ と

聖書朗読 箴言 14：1～7

だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。 マタイ 7：24

箴言の学びは、示唆に富み考えさせられるものです。箴言の学びから、私は電池の機能を考えました。電池は常に正と負の電荷が必要なものですが、箴言を読むと、同じように、初めに前向きに取り組むべき面(正)があり、同時に後ろ向きな面、好ましくないと言われる面(負)も示されています。

この世を生きる上で、常に積極的で前向きな姿勢でいることは容易ではないかもしれませんが、それを目指すことが私たちの目標でしょう。箴言を読み進めると、前向きな捉え方を知ることができます。消極的で後ろ向きな姿勢は、不信仰からくるとされています。

箴言の戒めは、消極的で後ろ向きな歩みを選ぶなら、その結果がいかなるものであるかを示しています。その結末は苦痛と崩壊です。神が、慈しみ深い救い主をこの世にお送りくださったことを日々感謝しましょう。その主は、願い求めたなら、私たちを赦し、私たちの罪を二度と思い出されないお方なのです。

箴言に書かれた真理は、神のお与えになる喜びと希望に従うことにより、その歩みが、充足感に溢れ目的を持ったものとなるということです。

この世を義に導こうと思うなら、
まずあなたの内なるものを義とされる必要がある
———John Miller

讃美歌 529

祈り 天のお父様。あなた様のみことばをよく学び、前向きな生き方を見出すことができるように、そして、その前向きな姿勢によって周囲の人々に影響を与え、光を輝かせることが出来るようにしてください。

あなた様の聖なるお名前によって祈ります。アーメン。

ジュウェル・クラークストーン
オクラホマ州 ノーマン

6月23日(木)

一 致

聖書朗読 箴言 18:19~24

滅びに至らせる友人たちもあれば、兄弟よりも親密な者もいる。

箴言18:24

フィリピンを旅していたときのこと、私は、その地の人々が互いを敬う態度で接している姿に感動しました。会話でも、彼らは、特に年配の方に話しかけると、敬称をつけて呼ぶのです。礼儀正しくあることは彼らの国民性の特徴なのでしょう。

フィリピンでは、“Bayanihan”（互いに助け合うこと、あるいは、互いを英雄とみなすこと）という概念は、今でも、特に地方の集落では一般的な慣習となっています。“utang na loob”（感謝）も、その地の人々は、自分を助けてくれた人にお返しをすることによって表しています。親切にしてくれた人にお返しが出来ないことは、“nakakahiya”（恥ずかしいこと）とされています。

神に似せられて造られた私たちは、人に親切にし、敬意を表し、善を行い、与え、相手を赦すように造られています。『兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんといいあわせ、なんといい楽しさであろう。』（詩篇133:1）とありますが、私たちが一つとなるためには、相手を赦し、相手に理解を示すことが求められます。箴言にはこうあります。『あなたの手善を行う力があるとき、求める者に、それを拒むな。』（箴言3:27）

愛の行いが増すにつれ、私たちの一致も成長するものです。私たちは、互いに親切にし、敬い合いたいと思いますし、善を行いたいと願いますが、私たちはそのように善を行うように造られているのです。相手を赦し、一致を目指していきたいものです。イエス様の愛と恵みによって、私たちは一つになることができるのです。

讃美歌 312

祈り 愛なる神であられるお父様。私たちが互いに、友として、兄弟姉妹としていかに交わりを深めていかをお示しくださり感謝します。主であり友となつてくださるイエス様が、真の友としての交わりの模範を示して下さったことを感謝します。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

S・ビル・ジメネス

カリフォルニア州 サンフランシスコ

6月24日(金)

罪はすべて醜いもの

聖書朗読 イザヤ 6:1~7

「ああ、私は、もうだめだ。私はくちびるの汚れた者で、くちびるの汚れた民の間に住んでいる。しかも万軍の主である王を、この目で見たのだから。」

イザヤ 6:5

イザヤは、威厳に満ちた聖なるお方である神の御姿を目にしたとき、罪に汚れた自分の魂の醜さを思い知らされました。霊的な意味でその罪は極めて汚れたものであり、イザヤ自身の罪は、信仰上の様々な目的を果たす上で、大きな妨げとなりました。

その汚れた深刻な罪とはどのようなものだったのでしょうか。それは、イザヤの汚れたくちびるでした。その罪は、殺人でも、暴力的な行為でも、嫉妬による嫌悪でも、利己的な羨望でも、神への冒とくでもなく、ただ汚れたくちびるだったのです。そうであれば、英雄的なこの預言者の罪はそれほど悪くはないではないかと誤って結論づけてしまいがちですが、罪というものは蔓延するとその霊的な暗闇が分からなくなるものです。

イザヤがこのような境地にあったとき、セラフィムがやってきて、祭壇から取った炭を持ってきてこう言います。『これがあなたのくちびるに触れたので、あなたの不義は取り去られ、あなたの罪も贖われた。』（イザヤ 6:7）。パウロも、自らの罪の醜さと葛藤し、『だれがこの死のからだから、私を救い出してくれるのでしょうか。・・・私たちの主イエス・キリストのゆえに、ただ神に感謝します。』（ローマ 7:24~25）と語っています。

神は私たちが赦してくださいますが、罪はやはり醜いものであることを覚えておかなければなりません。ヨセフは、性的な罪の誘いを受けたとき、こう語っています。「どうして、そのような大きな悪事をして、私は神に罪を犯すことができましょうか」。罪の誘いを受けたとき、私たちがこのような姿勢をとり、それを子どもや孫たちに伝えていきましょう。

讃美歌 520

祈り 主なる神様。あなた様の御子の血により、代価を支払ってくださり、私たちは清められました。あなた様の光と愛により、イエス様に近づかせてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アル・コーネル

ウィスコンシン州 ヒルズボロ

6月25日(土)

熱心に探し求める

聖書朗読 イザヤ 8:11~17

だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。 マタイ 6:33

物事は必ずしも表に見えたとおりではありませんから、時には、表面を少し掻き削って、根本となる原因あるいはその核心を探る必要があります。

掻き削るというと、雑誌などにある”scratch and sniff”という小さなカードを思い出しますし、また、我が家にはかつてとても愛らしい子猫がおりましたが、その子猫の困った習慣が、夫の靴を爪で掻くことでした。子猫は一番高級な靴一そろいを見つけ出し、靴はずたずたにされたものです。

物事を深く知るためには、少し掘り下げてみたり、掻き削ってみたり、かぎ分けてみたり、事実を調べてみたり、様々な探求手段を用いてみるものではないでしょうか。探求する対象は、自分自身であったり、ある人物であったり、ある事象、あるいは物事に対する答えであったり、様々な情報であったりするかもしれません。魂が思い悩むときには特にそうですが、霊的な答えを求めるのであれば、私たちには聖書があります。試練のとき、自分ではなく、神の時を信じ答えを受け入れましょう。そして、神はあなたが求めるすべての答えを持っておられることを確信しましょう。

真理を求めることもなく不信仰であることは、必ず過ちに至り
物事の探求もただ徒勞に終わる
神は物事を解釈して下さるお方
神により、理解が深められる

———William Cowper

讃美歌 293

祈り 親愛なるお父様。どうか私たちがあなた様と、あなた様のみことばが示してくださることを探し求めることが出来るようにしてください。試練の時、また困難な状況にあつて、私たちの信仰を強めてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ケーサ・ウィンザー
カリフォルニア州 サンディエゴ

6月26日(日)

試練のこの世に平安を求めて

聖書朗読 イザヤ 41:8~13

主は、私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。主は、私のいのちのとりで。だれを私はこわがろう。 詩篇 27:1

好ましくないニュースがメディアを賑わし、この地上に蔓延する様々な悪い出来事に、あなたは気もふさいでいませんか。けれども、こうした悪に対して抱く恐れを信仰に変える人は、困難な時にも打ち克つことができるのです。それは、神が私たちそれぞれのいのちにご計画を持っておられるからです。私たちは望まれそして愛されている者です。神は私たちすべてに、最もよいものをお与えになることを望んでおられ、私たちに期待してくださっています。神の人に対する驚くばかりの愛が、すぐそこにあるのです。

不安にさいなまれるとき、神の元へ行きましょう。神は平安を約束しておられます。「信仰の糧」と呼ばれる神のみことばは、いたるところにいつもあるのです。

イエス様が手に負えないと思われるようなことは、何一つ私たちには起こりません。たゆむことなく、その御腕で私たちを支えてくださり、私たちの敵と闘い、それに打ち克つ術をお与えになります。

恐れがあなたの扉を叩くなら、扉にこのようなサインを掛けておきましょう。「宛先が違います。ここは信仰が住まいとしています」。きっと、栄光に向かって歩むあなたの旅路で遭遇する多くの艱難に打ち克つことができるはずです。

困難の多いこの世にあつて、私たちは恐れに打ち克つことができます。それは、私たちには、堅固で真実なる拠り所があるからです。イエス様のお名前によって。

讃美歌 396

祈り 親愛なる主よ。霊的な力、愛、屈強な精神をお与えくださり、感謝します。日ごとに信仰を増し、あなた様を褒め称え感謝を捧げさせてください。

イエス様の尊いお名前によって。アーメン。

ジョアン・クレイトン
ニューメキシコ州 クロヴィス